

# JACIC 'i-Con' チャレンジ戦略 アクションプラン

JACIC 'i-Con' チャレンジ戦略の中で、「JACIC クラウドの構築」、「現場まるごと i-Con 化」、「コリンズ・テクリスによる建設情報の一元化」の3施策への取り組みについて、その構想を提案してきました。

JACIC 'i-Con' チャレンジ戦略で提案した内容についての、具体的な取組み、今後の計画を、順次「JACIC 'i-Con' チャレンジ戦略のアクションプラン（以下、「アクションプラン」という）」としてとりまとめていきます。今後、内容の充実に努め、更新してまいります。

## JACIC クラウドの構築

### I 公共調達関連サービス

#### (1) シングルサインオン

##### 【内容】

- ・シングルサインオンは、JACIC クラウドで提供する複数のサービスメニューを、同一の ID とパスワードで利用できる仕組みです。
- ・既存サービスの「コリンズ・テクリスシステム」「建設副産物・発生度情報交換システム」「JACIC ネット」や、ルームなど、新たに提供するサービスを、同一の ID とパスワードで利用することを可能にしていきます。

##### 【スケジュール】

- ・2020年4月 コリンズ・テクリス検索システムのシングルサインオン開始
- ・2021年6月 建設副産物システムのシングルサインオン開始予定

## (2) 平準化率データ提供サービス

### 【内容】

- ・「公共工事の品質確保の促進に関する法律」等で、発注者は、施工時期の平準化を図ることが定められています。
- ・当サービスは、平準化を支援するために、コリンズ・テクリスに登録されている工事・業務実績情報を活用し、発注機関ごとの以下のデータをセットで提供します。

① 過去3カ年度の平準化率（件数、金額別）

② 発注工事の月ごとの稼働状況グラフ

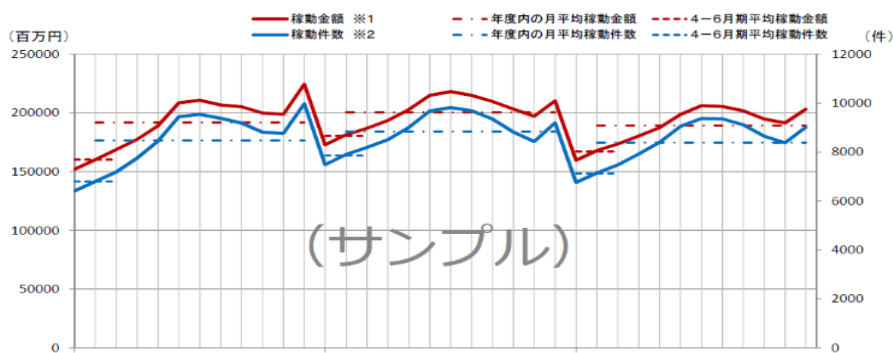
- ・サービス利用料金は、取扱いデータ件数の違いから、以下の2区分となっています。

区分	単位	料金（税込）
国、都道府県、政令市、その他の機関 （市町村、東京都23区は除く）	1件	11,000円
市町村、東京都23区	1件	1,100円

### 【スケジュール】

- ・2020年4月 平準化率データ提供サービスサービス開始

### 【参考】



4-6月平均／当年度月平均			
	H28	H29	H30
件数	0.80	0.89	0.85
金額	0.84	0.90	0.88

※1 稼働金額…工期に当該月が含まれている工事ごとに請負金額（税込）を工期（月数）で除した金額を総計した金額

※2 稼働件数…工期に当該月が含まれている工事の総件数

図 2-1 提供する平準化率データ（サンプル）

### (3) 発注情報の共有サービス

#### 【内容】

- ・発注公告の関係資料の閲覧希望者が、来庁することなく、インターネット上で閲覧申請、閲覧できるサービスです。
- ・当サービスを発注者側に年間を通じて利用いただくことで、受発注者双方の業務改善を支援します。

#### 【スケジュール】

- ・2021年4月 発注情報共有サービスの提供開始予定（詳細検討中）

#### 【参考】

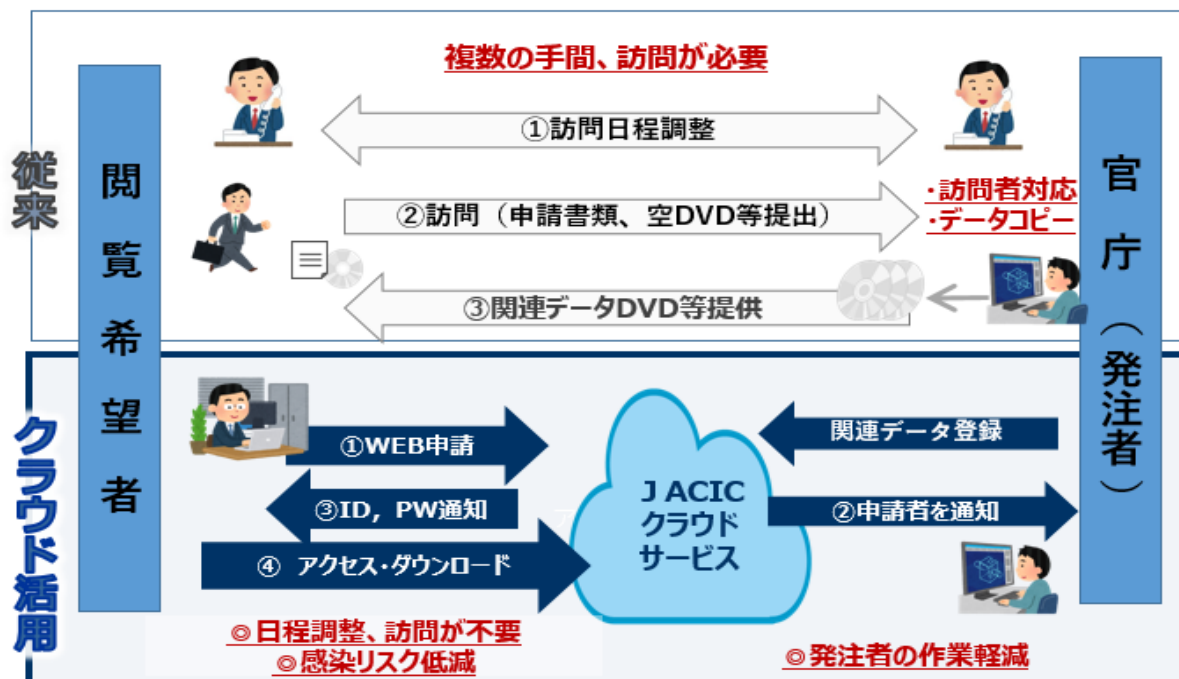


図 2-2 発注情報共有サービスのイメージ

## II 建設プロセス関連サービス

### (1) 平常ルーム（2021年3月末まで 4月以降「JACICルーム」の提供）

#### 【内容】

- ・調査設計、施工、維持管理の平常の業務において、組織内や関係者間での情報共有などを目的に常設するサービスです。
- ・基本サービスとして、登録したメンバーによるWeb会議、ファイル共有のサービスが利用できます。
- ・平常ルームは以下の2種類を用意しています。
  - 平常ルーム① 10名までの参加者全員が同時に顔を合わせて打合せができる会議形式のWeb会議としています。  
ルームの最大登録人数を30人としています。
  - 平常ルーム② 多人数に情報発信ができるよう、最大30名までの参加者に対して情報発信ができるセミナー形式のWeb会議としています。  
最大5名までは、指名により画面に登壇ができます。  
ルームの最大登録人数を100人としています。

	サービス	内容	料金 ※年度契約が基本
平常ルーム①	Web会議(会議形式)	登録可能利用者：最大30人 同時接続可能数：最大10箇所	1ルーム：6万円/月
	ファイル共有	登録可能利用者：最大30人 データ容量：最大300GB	
平常ルーム②	Web会議(セミナー形式)	登録可能利用者：最大100人 同時接続可能数：最大30箇所	1ルーム：8万円/月
	ファイル共有	登録可能利用者：最大100人 データ容量：最大300GB	

#### 【スケジュール】

- ・2020年6月 JACICクラウドで平常ルームのサービス開始

#### 【参考】



図 2-3 ルームの画面イメージ

## (2) 防災ルーム（2021年3月まで 4月以降「JACICルーム」の提供）

### 【内容】

- ・防災業務時に、組織内や関係者間で様々な災害関連情報を迅速、円滑に共有するためのサービスです。
- ・防災ルームは、関係者が多岐多数に及ぶこと、取扱いデータ量が多いことが想定されるため、登録可能人数、保管データ容量を増やしており、適宜ルーム数を追加できるシステムとしています。
- ・防災ルームのサービス仕様は以下のとおりです。

サービス	内容	料金 ※年度契約が基本
防災ルーム	Web会議(セミナー形式)	登録可能利用者：最大100人 同時接続可能数：最大30箇所
	ファイル共有	登録可能利用者：最大100人 データ容量：最大600GB
		基本料金：2万円/月 防災ルーム利用時のみ：+8万円/月

- ・防災ルームの利用の考え方を取りまとめた「JACIC クラウド防災ルームガイドライン（河川編）」を策定します。
- ・新たなサービスとして、災害対応時の情報共有のために必要となる以下の機能を有する防災時画面のシステムを、検討し、提供します。（機能の詳細について検討中。）

- ① 画面上の地図にポイントをマークし、マークにメモ、画像添付ができる機能
- ② リアルタイム情報伝達のためテロップ表示機能
- ③ 同じ画面から関係機関、関係データへのリンク機能
- ④ ライブ映像、登録した映像の表示機能
- ⑤ 上記映像を共有してのWeb会議機能

### 【スケジュール】

- ・2020年 6月 JACICクラウドで防災ルームのサービス開始
- ・2020年 6月 JACICクラウド防災ルームガイドライン（河川編）策定
- ・2020年12月 防災時画面の試行版作成
- ・2021年 4月 防災時画面のサービス開始（料金、詳細検討中）

【参考】



図 2-4 JACIC クラウド防災時画面のイメージ

(3) 360°画像情報共有システム

【内容】

- ・ 360°カメラ撮影画像を Web 地図上で管理をすることができるサービスです。
- ・ 専用のソフトを必要とせず、地図上で 360°画像を登録、閲覧できます。
- ・ ID、パスワードにより、関係者間での情報共有が可能です。

【スケジュール】

- ・ 2020年6月 JACICクラウドで 360°画像情報共有システムサービス開始

## 【参考】



- ・ 360°カメラで撮影し、登録された画像が地図上に表示。
- ・ ID、パスワードにより、関係者間でのシステムの共有が可能。
- ・ 災害時の現場状況確認、関係者間の情報共有等に有効。

図 2-5 360°画像情報共有システムの概要

# J A C I Cクラウド関連施策

## I 発注者 BIM/CIM 研修

### 【内容】

- ・ BIM/CIM の円滑な普及を支援するため、これから BIM/CIM に携わる発注者の方に必要な内容で構成した入門者向けの研修をセミナー形式及びW e b 形式で提供します。
- ・ 受託事業を通して、地方整備局職員を対象として BIM/CIM に関する基礎的な技術を習得するための研修実施の支援を行います。

### 【スケジュール】

- ・ 2020 年度 自主研修：「新型コロナウイルス感染症」の状況を鑑み開催中止  
受託事業：四国地方整備局等にて実施

### 【参考】

#### 2019 年度 発注者 BIM/CIM 研修の実績

- JACIC が実施した自主研修（発注者 BIM/CIM 研修初級）
  - ・ 8 月、1 2 月に計 2 回実施
- 国土交通省地方整備局からの受託に基づく研修
  - ・ 3 地方整備局にて計 5 回実施



# 現場まるごと i-Con化

## I 現場まるごと i-Con 化の推進のための取組

### 【内容】

- ・令和元年7月、社会基盤情報標準化委員会（以下、「標準化委員会」といいます。）において「建設生産・管理システムのあり方に関する提言～「新現場力」による創造的な現場環境の創出～」が取りまとめられました。
- ・その中で、「現場まるごと i-Con 化」の推進のため建設プロセスの各段階で適用可能な新技術が示されるとともに、それぞれの新技術によるカイゼンの効果を客観的・数量的に評価する方法等が提示されました。
- ・今後は、上記提言のフォローアップの一環として、標準化委員会において、現場に応用可能な新技術を継続して調査・追加するとともに、新技術の活用状況や効果を分析し、現場での新技術活用推進のために取り組むべき事項について検討します。

### 【スケジュール】

2020年度 建設現場に応用可能な新技術の調査・追加、活用推進方策検討  
(提言のフォローアップ)

## II ICTを活用した画像・映像情報の利活用の推進のための取組

### 【内容】

- ・画像・映像情報は、これまで記録としての使い方が中心でしたが、近年、ICTの急速な技術革新により、現況の把握・共有化、点検への活用等、分析や評価のために幅広く活用され始めています。この技術を災害対応や建設プロセスに積極的に導入することで、生産性の向上や仕事のやり方の改善につながることを期待されます。
- ・画像・映像情報の利活用を一層推進するため、標準化委員会において、「ICTを活用した画像・映像情報の利活用のあり方」について検討します。

### 【スケジュール】

- ・2021年7月頃 中間とりまとめ
- ・2022年7月頃 最終とりまとめ（標準化委員会からの新たな提言を予定）

2020年11月10日策定

2021年 3月15日改訂

【お問い合わせ先】

〒107-6114

東京都港区赤坂 5-2-20

赤坂パークビル 14階

一般財団法人日本建設情報総合センター

JACIC ソリューション

計画監理部：大澤、事業推進部：桜井

TEL：03-3505-8102、FAX：03-3505-8983

Mail：[jacic-cloud@jacic.or.jp](mailto:jacic-cloud@jacic.or.jp)